

室内での作業は危険！ 残りガスに注意

～スプレー缶、カセットボンベのガス抜き器の品質～

スプレー缶やカセットボンベなど穴あけ作業を室内で行って起きる、火災や爆発などの事故が毎年発生しています。中には死亡事故もあります。

使用済みの缶を捨てる場合、自治体によって捨て方が異なります。中身を使い切ってから捨てるのは共通ですが、「缶に穴をあけてから捨てる自治体」と、函館市、苫小牧市、砂川市など「穴をあけないで捨てられる自治体」があります。札幌市も7月から穴あけ不要の自治体に加わりました。しかし、まだ多くの自治体が自分で穴をあけてから捨てなくてははいけません。そこで、100円ショップやホームセンターなどで販売されているガス抜き器（穴あけ器）をテストしました。

テスト品目

ガス抜き器11銘柄（No.1～11）

●はさむタイプ（No.1～3）



左から
No.1
No.2
No.3

●缶切りタイプ（No.4～8）



左から
No.4
No.5
No.6
No.7
No.8

●針タイプ（No.9～11）



No.9

No.10

No.11

テスト結果

○穴あけ可否

はさむタイプの3銘柄は、缶の直径が特に小さい形状のものは使用できませんでした。No.1は37mm以下、No.2は18mm以下、No.3は30mm以下のもの。

缶切りタイプの5銘柄は、缶の底面が平らなものには穴をあけることができませんでした。

針タイプの3銘柄はどんな形状の缶でも、穴をあけることができました。

○耐久性試験

全銘柄、100回穴あけ後も、本体の破損や刃が欠けたり、針が折れ曲がったりすることがなく、問題ありませんでした。

○材質試験

刃や針の材質は、ステンレスが4銘柄、そのほかは、クロム、ニッケル、亜鉛などのメッキが施され、防さび処理がされていました。

○モニター試験

21名（男性10名、女性11名）のモニターにガス抜き器を使用してもらい、使い勝手を調べました。

モニターの半数以上が「良い」と回答した

No.	商品名	表示者名	製造国	購入価格 (円)
はさむタイプ	1 スプレー缶用穴あけパンチ	(株)オカザキ	中国	108
	2 スプレー缶用穴あけ器 スプレーパンチ	オークス(株)	日本	1,058
	3 ガスボンベ・スプレー缶の ガスぬき&ビン・オープナー スリー・キング	プリンス工業(株)	日本	1,027
缶切りタイプ	4 ガス抜きブッテン	(株)IP システム	中国	108
	5 ワンタッチガス抜き (E001-No.34)	(株)大創産業	中国	108
	6 スプレー缶ガス抜き器 (No.75)	(株)大創産業	台湾	108
	7 スプレー缶のガス抜き器 ガスヌキマウス (GAS-1400H)	長谷川刃物(株)	日本	313
	8 リサイクルツール ハイ！環良！！(HK1-600)	V.ROAD	日本	626
針タイプ	9 ガス抜き UFO (E001-No.35)	(株)大創産業	中国	108
	10 缶のガス抜き 押すだけ (NO.CB-12B)	生活商品工房 ツジ・アクト	日本	410
	11 缶のガス抜き器 デファ (AD-18)	(株)エイム	日本	409

銘柄は6銘柄 (No.2,4,5,6,7,9) でした。No.4,5,6,9は100円ショップの商品で、価格が安く本体が小型で、穴あけの際にあまり力のいらぬ銘柄が好評でした。また、No.2は価格が高く本体が大型でしたが、軽く握るだけで穴あけできる点が良いとの回答が多く、No.7は本体が小型で穴あけの際に力のいらぬ点が良いとの回答が多くありました。

○表示状況

全銘柄、包装・ラベル、付属の取扱説明書に使用上の注意表示の記載がありました。

「穴を開ける前に残ったガスを抜く」

「火気の近くで使用しない」

「子供の手の届かないところに保管する」

「屋外で使用する」

などの記載がありました。

はさむタイプ

他のタイプに比べ大型で重量がある。

価格も100円ショップのもの (No.1) を除いて高め。

軽くはさむだけで穴あけでき使いやすく良い。

缶切りタイプ

比較的小型で価格も安い。缶切りを使うのと同じようにテコの力を利用して簡単に穴あけできる。モニターに好評なタイプであった。

針タイプ

他のタイプに比べ小型で軽く、価格も安い。缶の側面に押し当てるだけで穴あけできるシンプルさが良い。穴あけの際、鉄などの缶の場合、若干力が必要になる。
※付加機能：No.3はビンや缶のフタオープナー、No.8はビンのラベル剥がし・PETボトルのリング取り・フィルム剥がしができました。

消費者へのアドバイス

●自治体によっては缶に穴をあけないで廃棄できるので確認しましょう。

●缶に穴をあける作業は、中身が空なのを確認して、必ず屋外で火気のない通気の良いところで行いましょう。屋内で作業して毎年、事故が発生しています。

●中身が出なくなったスプレー缶などは、無理せず、近くの消防署に問い合わせましょう。

●使い切った缶であっても、穴をあけた際に残りガスにより内容物が噴き出すことがあるので、体から離して、噴き出し口（あけた穴）を人に向けないようにしましょう。

●ガス抜き器の刃や針の先端は鋭利になっているので、注意して使用するとともに、使用後は子供の手の届かない安全な場所に保管するようにしましょう。